



NO. 1923
2014. 12. 7

編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313
qqsw67zb9@bird.ocn.ne.jp

http://www6.ocn.ne.jp/~jcp-tsur/

高橋みづ子
紙橋智子
国會議員連絡所
原市議団事務所
鶴岡市美原町16-5
☎22-3313
FAX24-4096

無料生活相談所

加藤太一
稲生 2-6-6
24-5935

関徹
長者町11-26
24-2414

加藤 鈺一
宝徳 仲田 56
64-3941

菅井 巖
中 桶 9 6
33-0534

総選挙公示

共産党の躍進で国民の声が生きる政治を 安倍政権の暴走ストップ、五つの転換を！



第一声を行う長谷川つよし山形3区候補

日本の未来がかかった衆議院議員総選挙が2日公示され、14日の投票日に向け選挙戦がスタートしました。あらゆる分野で民意に背く暴走を続けた2年間の安倍政治が問われる総選挙です。日本共産党は、

- ①消費税10%増税中止、「消費税に頼らない別の道」への転換
- ②格差拡大の「アベノミクス」ストップ、
- ③「海外で戦争をする国」づくりを許さず、憲法9条の精神に立つた外交戦略への転換
- ④原発再稼働ストップ、「原発ゼロの日本」への転換
- ⑤沖縄の米軍真吉建設を中止し、基地のない平和な沖縄への転換を訴えています。

暮らし第二で経済を立て直す政治への転換
「定数14」では、東北の命綱・5選を目指す高橋ちづ子候補の議席を守り、躍進を目指します。
山形3区では議席獲得を目指す長谷川つよし候補が第一声。
「昨日、流行語大賞が決まった。『集団的自衛権』『ダメよくダメダメ』。今度の選挙は安倍政権の暴走をやめさせ、新しい政治をつくる選挙だ。消費税増税中止、平和を願う一票を託して欲しい」と力強く訴えました。



関とおるの きつぱり発言「ドンドン行動」

安倍政権は鶴岡でも耐え難い総選挙が公示されました。暴走する安倍政権に審判を下し、悪政ストップ、国民の声を政治に届ける機会にしなければならぬと考えます。

日本共産党は、日本の政治の焦点となっている五つの課題で転換を図ることを訴えています。

私は真議選への立候補を表明した7月以降、鶴岡市内を広く回って多くの市民の皆さんの声を伺ってきました。

「年金だけで生活しているのにそれが減らされ、消費税が引き上げられていくとは、命の危険を感じる」「2町歩の田んぼで兼業で土日祭日がんばって米を作ってきたものが、米価下落で100万円の減収」「家族で専業で20町歩まで広げてきたが300万円以上の

減収」「会社が50人の希望退職を募集したら90人も応募。従業員を切り捨ててやっつけていこうとする会社に未来は感じられないし、こんなことが当たり前のようにやられている日本にも未来は無い」
安倍政権の暴走は、鶴岡でも耐え難い困難をもたらしていることが痛感されました。

市民の希望開く選挙に
私は、市議としての9年間、医療・介護・福祉、働く人の雇用と権利、子育て支援を始めとして、市民の暮らしを守る政治を目指して活動してきました。

県政の場で、その仕事をより大きく進めていきたいと考えていますが、まず国政の転換で市民の未来の希望を開くために全力を挙げていく決意です。

南部建設事務室入札結果 () 内は予定価格

11月27日入札分
・市道小在家大杉線防雪柵基礎工事 (黒川地内)
(有)大滝組 5,700,000円 (6,099,000円) 工期~27/3/27 (落札率93.5%)

土木課入札結果 () 内は予定価格

11月27日入札分
・市道横路南線横路陸橋ほか橋梁長寿命化対策設計業務 (鼠ヶ関地内ほか)
(株)榎本測量設計事務所 8,900,000円 (9,177,000円)
期間~27/3/27 (落札率97.0%)
・三光町双葉町2号線道路改良工事 (双葉町地内)
(有)大泉建設 2,500,000円 (2,521,000円) 工期~27/3/13 (落札率99.2%)
・藤沢森片線ほか2路線防護柵等設置工事 (藤沢地内ほか)
(株)五十嵐建業 5,340,000円 (6,073,000円) 工期~27/1/30 (落札率87.9%)

下水道課入札結果 () 内は予定価格

11月27日入札分
・市公共下水道事業 汚水11C185号-3-1ほか改良工事 (日出一丁目地内)
(株)佐藤工務 28,000,000円 (28,215,000円) 工期~27/1/30 (落札率99.2%)

比例東北ブロック

東北の命綱・高橋ちづ子候補の議席を必ず

国に「過剰米処理」の実施を求めよ

市長「過剰米を『隔離』する要望は適切でない」

鶴岡市議会12月定例会が2日開会され、日本共産党市議団を代表して菅井巖議員が総括質問を行いました。

米価下落で24億円所得減

でも返済に苦勞することから「貸付期間の延長」が必要。県に対して見直しを求める必要

があるのではないかと。市長 平成22年度にも同様の制度が実施されたが、償還期間1年のため利用者が少なかったことから、今回は利用しやすいように3年にした。県に対して償還期間の延長は要望する予定はない。



問 米価の大幅下落で県は、県内米農家全体の収入が145億円減少すると試算。米農家の所得減が、地域経済に重大な影響を及ぼすことから、影響試算を行い、市民にも実態を伝えるべきでは。

教育委員会の議事録公開を

問 事務方トップの教育長が、教育委員会トップの教育委員長を兼ね、首長が議会の同意を得て任命することから、教育委員会の独立性の機能が失われることが懸念される。

市長 首長が「大綱」を作成すると言われているが、教育委員会との調整によって決定するものと考えられる。

問 市長は農協に「一層の販売強化と、米価の上乗せを図っていたほしい」と「自己努力」を促しているが、それができない米価水準であることを認識しているのか。

「アベノミクス」中小業者の実態つかめ

問 地域の格差、企業

問 地域の中小業者、

市長 市としては過剰米を「隔離」する要望は適切でないと考えられる。需要に応じた生産が、米価下落を招かない事と認識している。問 米価下落対策の無利子融資に関して、貸付期間が「3年以内」では、営農実態から見

「アベノミクス」中小業者の実態つかめ 問 地域の格差、企業格差、貧富の格差を一層広げる「アベノミクス」政策は誤った方向であると考えられる。市長 結果として、株価が上がり、雇用情勢も求人数が増え、女性と高齢者の雇用が増えた。失業率も改善されており、一定の効果があるのではないかと。市長 平成22年度にも同様の制度が実施されたが、償還期間1年のため利用者が少なかったことから、今回は利用しやすいように3年にした。県に対して償還期間の延長は要望する予定はない。

問 地域の中小業者、商工業者の経営悪化が著しい。市長 一昨年に中心商店街でアンケートを実施

施し、寄せられた課題の解決について若手の商店主による研究会を立ち上げ活動しており、市も参加し補助金活用の助言などをして

は検討しなおすべき。市長 鶴岡市総合計画・後期基本計画に沿って土地画整備事業により計画的に市街地形成をするとしている。

問 茅原での土地画整理について、市民や、商店街の方々から懸念の声が上がっている。中心市街地の空洞化を招くおそれのある事業

市としては、中心市街地への影響なども見極めたうえで都市計画決定、事業認可手続きを行ってゆく。手続き上に必要な住民説明を行ってゆく。

下水道の企業会計化で料金値上げは

問 下水道事業の企業会計方式により、コスト主義が強化される。受益者負担主義が強まり、使用料の引き上げになるのではないかと。

命化対策が必要。安定的な経営をするうえで、地方公営企業法の全部適用による企業会計方式が有効と考えられる。

市長 人口減少による水需要の減少で使用料収入が減少。施設の老朽化による更新や長寿

使用料改定などについては、審議を経て適切に行ってゆきたい。

生活困窮世帯への支援策は

問 補正予算で各種扶助費が増額されている。経済実態が悪化している証拠であり、社会保障・福祉施策の後退が影響していると考えるが、見解を伺う。

「家計相談支援事業」や子どもへの「学習支援事業」なども総合的に実施しなければ対策につながらないと考えるが見解を伺う。

市長 生活保護扶助費は毎年3%程度の増加である。要因として、高齢化の進行、失業、扶養義務者の援助の限界などである。面接相談、就労支援等とあわせ、今後も適正な運用を図ってゆく。

市長 まず4月から実施する自立相談支援事業の状況を見て、任意事業について必要性を判断してゆきたい。

問 来年4月から生活困窮者自立支援法が施行される。市は自立相談支援事業、住宅確保給付金など支給、就労準備支援事業について準備検討中とされている。国が示している、

市長 灯油価格は下落傾向であり、現時点では「福祉灯油」は実施しない考え。